

4 病原体検査状況

(1) 病原体検査の概要

ア 疾患別、月別検査受入状況(P32 表 14 参照)

受入検体件数 16,401 件（全数把握対象感染症 16,376 件、病原体定点対象感染症 25 件）で、多い順に新型コロナウイルス感染症 16,253 件、日本紅斑熱 47 件、腸管出血性大腸菌感染症 35 件、感染性胃腸炎 25 件等である。

新型コロナウイルス感染症については、1 月から第 3 波、3 月下旬から第 4 波、7 月から第 5 波が来襲したことによる患者数の急増に伴い検体数が増加した。特に第 5 波については 1 日の検体数が最大 440 件まで増加した。

他の全数把握対象感染症については、4 月から 10 月にかけて日本紅斑熱、3 月から 7 月にかけて腸管出血性大腸菌の検体の搬入が相次いだ。

定点把握対象感染症については、感染性胃腸炎の検体が年間を通して搬入された。なお、発生動向調査としては新型コロナウイルス検査対応のため、前年度に引き続き病原体定点からの検体受入を中止した。

イ 疾患別病原体分離・検出状況(参照:P33 表 15-a、P34 表 15-b)

5 疾患を中心に 5 種類 6 型（血清型、遺伝子型、遺伝子型および遺伝子群を含む）のウイルス、リケッチア、細菌が分離・検出された。主な疾患から分離・検出されたものは、以下のとおりである。

- (ア) 腸管出血性大腸菌感染症：O146 及び O157 が各 1 件分離同定された。
- (イ) 日本紅斑熱：日本紅斑熱リケッチアが 11 件検出された。
- (ウ) 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）：SFTS ウイルスが 3 件検出された。
- (エ) 感染性胃腸炎：ノロウイルス G II 型が 2 件検出された。
- (オ) 新型コロナウイルス感染症：新型コロナウイルスが 879 件検出された。

(2) 病原体定点対象感染症

ア 月別ウイルス分離・検出状況(P35 表 16 参照)

発生動向調査については新型コロナウイルス検査対応のため病原体定点からの検体の受け入れは中止している。

- (ア) ノロウイルスは、4 月と 12 月に計 7 件検出された。遺伝子群は G II が 2 件であり、5 件は抗原検査のみ行ったため遺伝子群は不明であった。

表14 採取月別検体受入状況(令和3年1月～12月)

臨床診断名(疑いも含む)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
全数把握対象感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2		13	5	4	6	5						35
	日本紅斑熱				8	6	1	6	12	3	9		2	47
	つつが虫病			1							2			3
	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)		1			2	2	3	6	1	4			19
	レジオネラ症											1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1		2		1					1	6
	麻疹									9				9
	風しん									3				3
	新型コロナウイルス感染症	1,228	651	409	2,112	1,369	246	2,122	5,287	2,343	344	63	79	16,253
小計		1,231	652	423	2,126	1,383	255	2,137	5,305	2,359	359	64	82	16,376
病原体定点対象感染症	咽頭結膜熱													0
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎													0
	感染性胃腸炎		6		7	4				4			4	25
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)													0
	手足口病													0
	ヘルパンギーナ													0
	流行性耳下腺炎													0
	インフルエンザ													0
	急性出血性結膜炎													0
	流行性角結膜炎													0
	細菌性髄膜炎													0
	無菌性髄膜炎													0
	伝染性紅斑													0
	RSウイルス感染症													0
水痘													0	
突発性発疹													0	
小計		0	6	0	7	4	0	0	0	4	0	0	4	25
計		1,231	658	423	2,133	1,387	255	2,137	5,305	2,363	359	64	86	16,401

※新型コロナウイルス検査対応のため、病原体定点からの発生動向調査検体の受入を中止した。

表15-a 全数把握感染症 疾病別 病原体分離・検出状況(令和3年1月～12月)

		腸管出血性大腸菌O146	腸管出血性大腸菌O157	日本紅斑熱リケッチア	つつが虫病リケッチア	SFTSウイルス	レジオネラ属菌	カルバペネム耐性遺伝子(IMP、NDM、KPC、OXA-48)	麻しんウイルス	風しんウイルス	新型コロナウイルス	計
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	1									2
4類感染症	日本紅斑熱			11								11
	つつが虫病											0
	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)					3						3
	レジオネラ症											0
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症											0
	麻しん											0
	風しん											0
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症										879	879
計		1	1	11	0	3	0	0	0	0	879	895

※新型コロナウイルスについては令和3年2月13日施行の感染症法の改正により指定感染症から新型インフルエンザ等感染症へ変更。

表16 採取月別ウイルス分離・検出状況(令和3年1月～12月)

検出病原体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
アデノ 1型													0
アデノ 2型													0
アデノ 3型													0
アデノ 4型													0
アデノ 5型													0
アデノ 6型													0
アデノ 7型													0
アデノ 8型													0
アデノ 40/41型													0
アデノ 54型													0
アデノ 56型													0
アデノ 64型													0
アデノ 型別不能													0
インフルエンザ AH3													0
インフルエンザ A(H1N1)2009													0
インフルエンザ B Victoria系統													0
インフルエンザ B Yamagata系統													0
コクサッキー A2型													0
コクサッキー A4型													0
コクサッキー A5型													0
コクサッキー A6型													0
コクサッキー A10型													0
コクサッキー A16型													0
コクサッキー B3型													0
コクサッキー B5型													0
エコー 3型													0
エコー 5型													0
エコー 11型													0
エコー 18型													0
エコー 25型													0
エンテロ A71型													0
ライノ													0
エンテロ 型別不能													0
ムンプス													0
パルボウイルスB19													0
RS A亜型													0
RS B亜型													0
A群ロタ													0
アストロ													0
ノロ GI													0
ノロ GII					2								2
サポ													0
ヘルペス 1,2型													0
ヘルペス 3													0
ヘルペス 5													0
ヘルペス 6													0
ヘルペス 7													0

※新型コロナウイルス検査対応のため、病原体定点からの発生動向調査検体の受入を中止した。

(3) 全数把握対象感染症

ア ウイルス検査の概要

(ア) SFTSウイルス

保健所の積極的疫学調査により 19 件の検査を実施した。その内、3 名から SFTS ウイルスが検出された。

(イ) 麻しんウイルス

保健所の積極的疫学調査により 9 件の検査を実施したが、麻しんウイルスは検出されなかった。

(ウ) 風しんウイルス

保健所の積極的疫学調査により 3 件の検査を実施したが、風しんウイルスは検出されなかった。

(エ) 新型コロナウイルス

保健所の積極的疫学調査により 16,253 名の検査を実施した。その内、879 名から新型コロナウイルスが検出された。

イ リケッチア検査の概要

(ア) 日本紅斑熱

保健所の積極的疫学調査により 47 件の検査を実施した。その内 11 件から日本紅斑熱リケッチアが検出された。

(イ) つつが虫病

保健所の積極的疫学調査により 3 件の検査を実施したが、つつが虫病リケッチアは検出されなかった。

ウ 細菌検査の概要

(ア) 腸管出血性大腸菌

県内で腸管出血性大腸菌患者（健康保菌者を含む）は 10 名発生した。当所では、患者（陰性化確認）と患者の接触者（結果陽性の場合の陰性化確認も含む）について 35 検体（便）の検査を実施した。その結果、2 件の腸管出血性大腸菌を分離・同定し、これらの血清型は、O146、O157 であった。また、当所で分離・同定された菌株 2 株について毒素遺伝子を検査したところ、「VT1・VT2」が 1 株、VT2 が 1 株検出された（P37 表 17 参照）。

(イ) レジオネラ症

保健所の積極的疫学調査により 1 件の検査を実施したが、レジオネラ属菌は検出されなかった。

(ウ) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

発生届のあった菌株 6 件について検査を実施したところ、いずれも 4 つの遺伝子型（IMP 型、NDM 型、KPC 型、OXA-48 型）に該当しなかった。

表 17 腸管出血性大腸菌症発生状況(令和3年1月～12月)

No.	検出月日	当所検査	居住地域	性別	年齢※	症状の有無	O血清型	Vero毒素型
1	1月18日	—	米子	女	80歳代	有	103	VT1
2	3月18日	—	倉吉	男	乳児	有	103	不明
3	3月19日	—	米子	女	50歳代	なし	型別不明	VT1・VT2
4	3月25日	—	倉吉	男	中学生	なし	型別不明	不明
5	4月21日	分離・同定	米子	女	70歳代	なし	146	VT2
6	5月25日	—	鳥取市	男	80歳代	有	157	不明
7	5月28日	分離・同定	鳥取市	女	70歳代	なし	157	VT1・VT2
8	6月1日	—	鳥取市	男	70歳代	有	157	VT1・VT2
9	6月10日	—	鳥取市	女	60歳代	なし	103	VT1
10	7月28日	—	倉吉	男	20歳代	なし	103	VT1

※表中の着色部分は同一事例を示す。それ以外は個別事例

※乳児：1歳未満